

平成28年度 第2回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

○日 時 平成28年11月24日（木）午後7時～午後8時30分

○場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室（本館2F）

○テーマ 本校教育のめざすもの～平成28年度学校経営計画～
・平成28年度 授業アンケート実施結果を踏まえて
・平成28年度の主な取り組みについて

○出席者（敬称略、委員は50音順）

会長 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校校長）

委員 上田 裕彦（吹田市立第二中学校校長）

西條 裕之（本校PTA会長）

辻 良夫（藤が丘上自治会会長）

土井 実（鳳志会副会長）

校長 浅田 明子

○事務局

手島 肇（教頭）、植木 邦博（事務長）、磯原 健志（首席）、大西 英之（首席）

■委員から出された主な意見等

【授業アンケート実施結果を踏まえて】

- 授業アンケートは、先生の評価と生徒自身の意識調査に関する9項目の平均値で各年度の比較をしているが、生徒自身の意識と先生の評価の数値を合わせて平均値をとるのはどうも馴染まない。生徒の意識調査の平均、先生の評価の平均に分けて比較をする方が正確ではないか。例えば、先生の指導の仕方は高評価されているが、生徒自身の取り組みの評価が低いと感じている時に、合わせて評価をすれば先生の評価を落としてしまう。
- 評価の対象が違うので、先生の評価と生徒自身の意識調査を分けて評価をすれば興味深い結果がでるかもしれない。

【平成28年度の主な取り組みについて】

- 遅刻は進捗状況が良いとのことだが、去年と何か違った方法をとっているのですか。
- 遅刻の月毎の目標値、学年毎の目標値を共有しながら指導を進める方法は、スモールステップなら確認しやすいという点で効果的で良い方法だと思う。
- 硬式野球部が今年ベスト8と例年にない成績をおさめ、OBとしても喜んでいる。何か大きく変わったところ等、好成績をおさめた要因等で、お気づきの点はありますか。
- 生徒の精神面は指導者の指導力で良くもなり悪くもなる。運動と学問の両立にぜひ取り組んで欲しい。

- 授業力向上の取組みで「アクティブラーニング」とあるが、中学校でも、教師からの一方的な授業ではなく、子ども達の間で討論やグループワークをさせることが定着している。小学校からグループで活動に取り組んでいるので既に中学校では話し合う素地ができている。一方、高校生のように年齢が高くなると「アクティブラーニング」を実施するのが、かえって難しい面があるのではないかと思うが、実施状況を教えてほしい。
- 授業見学週間について期間が17日間と長いが、教員がそれぞれに全校メールを利用して授業内容を示して見学を積極的に呼びかける姿勢は良いと思う。
- 教員の年齢構成の面からは、今は団塊の世代の先生が抜けて若手の先生が入り、助け合いをしようという良いムードの中で進んでいると思う。今の若手の先生が中堅からベテランになった時にも積極的に授業見学に来てくださいという気持ちを持つよう、学校全体の授業力を底上げくださるよう制度化していただきたい。
- 「進路のてびき」について、これは生徒が入学した時に3年間の各月ごとに取組む内容がわかり、まさに生徒にとっては進路実現までの地図になると思う。初めて歩く道では地図は必携だが、コンパスがあって初めて自分がどこを歩いているか確認しながら進むことができる。先生方がそのコンパスの役割をし、今こちらの方向に向かっているということを常に地図とあわせて導いていただきたい。
- みかん会議は健康面等のデリケートな内容になると見込まれるが、この辺の指導はカウンセラー等のアドバイスを受けながら行っているのですか。
- 制服について、女子のリボンはゴムを使用していると伸びてしまう。金具でつけるタイプだと必ず第一ボタンをしめるので恰好がよい。
- 新制服はこれまでの制服と比べデザイン性だけでなく機能面、価格面で配慮されていると理解した。

【教科書の採択について】

- 平成29年度の各教科の採択について理解した。